

2024 年 3 月 16 日 (土)

第27 回フォローアップ研修会を開催しました。



久留米大学
認定看護師教育センター
2024 年春色号

研修会テーマは「久留米 de Meets！－認定看護師の「今」を語ろう」

3 年ぶりに集合で開催された本研修会には 83 名が全国から参加されました。
研修会対象者を 2020 年度、2021 年度、2022 年度修了生としており、Zoom 越しではなくリアルではじめて会う同期も多く、懐かしさと新鮮さが交じり合う時間でした。
古村センター長から「同期という横のつながりと、分野という縦のつながりを築く時間となりますように」とご挨拶いただき、研修会が始まりました。

古村 センター長



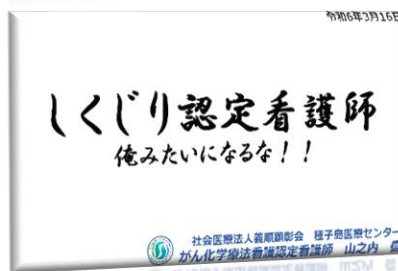
メインテーマは「認定看護師の今」。これを共有できるように、立場も分野も経験も異なる認定看護師 3 名に「認定看護師の活動」について赤裸々にお話いただきました。

🎧 小川 司 先生（大阪はびきの医療センター、がん放射線療法看護 CN）



認定取得後 3 年目の小川先生は、認定取得、部署異動、出産、復職を経験した激動の 3 年間をお話いただきました。
やりたいこと、できることの狭間で揺れ動いた自分を支えてくれるものは何か。初心の大切さを思い出させていただきました。

🎧 山之内 信 先生（種子島医療センター、がん化学療法看護 CN）



認定更新を終えたばかりの山之内先生は、目を引くテーマからもわかるように自分の失敗を赤裸々に率直に語ってくださいました。
失敗を失敗で終わらせないバイタリティを感じ、これからの毎日に向け力強いエールをいただいたように感じました。



認定として10年間、活動してきた後藤先生からは緩和ケアCNとして地域での役割開発と、それらを通して感じた課題から特定行為研修を取得した経緯を教えてくださいました。目の前のことに真摯に取り組むことで、道が開けていくことを知り、心励まされました。



質問は尽きず、予定時間を超過してしまうほどの盛会となりました。

参加者からは

「ライフバランスとの折り合いをつけながらの認定としての葛藤や、様々なご経験を赤裸々にお話しくださり、現実味のある内容で非常に参考になりました」

「離島という特殊な状況下の中、紆余曲折しながらの過程のなか、ご自身のお気持ちも踏まえ、様々な葛藤がつつかりました。しくじりから得られたものの大きさもまた、理解できました」

「10年経過しても、悩み探りながら認定の仕事に取り組んでおられる姿に、安心もあれば、何年経っても答えがない事が不安でもあり、いろんな事を考える楽しみも感じました」などなど。それぞれのシンポジストの発表を通して参加者自身を顧みるコメントが多く聞かれました。

活躍の場は違えども同じ志を持つものとして、刺激と示唆にあふれた時間となったのではないのでしょうか。



2020 年度修了者_参加者一同 コロナ禍真っ只中で教育課程を過ごした方々。

遠隔学習のモデルがない中で、10 か月を駆け抜けた強者たちです。

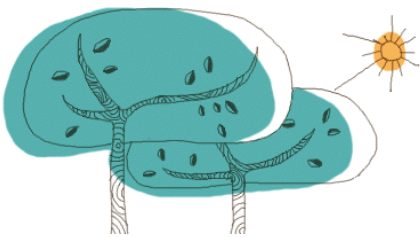


2021 年度修了者_参加者一同 コロナ禍2年目に教育課程を過ごした方々。

「Zoom または集合のいずれか」という不確実さの中で、臨機応変に対応し、教育課程を乗り切った柔軟性あふれるメンバーです。



2022 年度修了者_参加者一同 特定行為研修を含めた認定看護師教育課程となったB 課程 1 期生。
新たな認定看護師を創り上げていく、パイオニア精神溢れる方々です。



初めて…同期との食事 in 久留米



あちらこちらと、会話がはずみます。



名刺交換は大事なつながりづくり。改めて同期に渡したり、同分野と交換したり、同じ県下の認定看護師に声をかけたり。たくさんのネットワークを作ることができたのではないのでしょうか。



名刺コレクター



仲間がいるということは、心強いものですね。
お互い、自律しつつ相互に支えあえる専門職として、
つながっていければと思います。
ご参加、ありがとうございました！

